

外客来訪促進計画（概要版）

平成17年10月 茨城県 千葉県



世界から一番近い 日本の歴史と未来

外客来訪促進計画とは…

国では観光立国の実現のため、2010年までに訪日外国人旅行者を1,000万人に倍増させることを目標にしています。このため、地域における国際観光の振興を目指し、「通訳案内業法」と「外客誘致法」の一部を改正する法律が平成17年8月15日に一部施行されました。

これに合わせ、市町村や民間事業者と連携して広域的に国際観光に取り組んでいくための基盤整備の一環として、外客誘致法に基づく「外客来訪促進計画」を茨城県と千葉県で共同して策定しました。

この「外客来訪促進計画」は県が国の同意を得て策定する計画で、市町村で構成される「外客来訪促進地域」を指定し、外国人観光客が3～5泊をかけて周遊できる広域的な受け入れ体制を形成するものです。

また、本促進地域に指定された市町村は、外客来訪促進計画に基づく地域観光振興計画を県と協議のうえ策定することができ、地域観光振興計画に基づき国が認定した民間組織の事業には国の支援制度等が用意されています。

そして、この計画による国際観光の振興と国際交流の促進により、本計画地域の活性化を図っていきたいと考えています。

なぜ、茨城県と千葉県が…

茨城県と千葉県は、地理的にも隣接し、ともに長大な海岸線や肥沃な田園地帯を持ち、さらには臨海工業地帯や研究施設集積地域等を有するなど農水工商がバランスよく調和の取れた産業構造にも共通点があります。

また、交通面においても、古くは利根川の水運を通じ、また現在は常磐線、つくばエクスプレス等の鉄道や常磐自動車道、東関東自動車道等により緊密な連絡が取られています。

このように、地理的な近接性から同一の観光文化圏を共有する地域もあり、地域の特色や観光のテーマが近似する茨城県と千葉県が共同して取り組むことで、より効果的な外国人観光旅客の来訪促進を図ることができると考えています。

テーマ

日本の原風景、豊かな自然とスポーツ

海、川、湖、森などの豊かな自然
里山、里海といった日本の原風景
ゴルフ、サーフィン等自然の中のスポーツ

テーマパークと都市・産業観光

TDRに代表されるテーマパーク
伝統産業、現代産業に係る産業観光
つくば研究学園都市等の先端技術

歴史と文化

縄文時代から近世にいたる歴史遺産、史跡
歴史的まち並みと生活文化
伝統芸能、伝統工芸などの日本の文化

幅広い分野、時代の観光資源
地域の人々との交流
参加・体験する観光
ニーズに合わせた観光
成田に近く、身近で手軽に

メインテーマ

世界から一番近い日本の歴史と未来

サブタイトル

～NARITAからはじまる、
日本の自然、歴史から
先端技術までに触れる旅～

安心、快適な旅を気軽に
短時間の旅「ショートツアー」

現状

全国では約614万人、茨城県と千葉県には約85万人（推計）の外国人が訪れています。（人）

	2000	2001	2002	2003	2004
全 国	4,757,146	4,771,555	5,238,963	5,211,725	6,137,905
茨城・千葉県計	694,543	629,845	759,650	719,218	847,031

（資料：国際観光振興機構「訪日外国人旅行者調査」）

国別の来訪者数は、韓国、台湾、中国、オーストラリア、アメリカの順になっており、近隣アジア諸国からの来訪者が全体の62.6%を占めています。

また、欧米諸国も伸び率では10%を超えています。

成田国際空港の外国人入国者は、訪日外国人の55%にあたる約368万人、トランジット（乗継）者数は約332万人となっています。（2004年）

ホテル・旅館は有りますが、「宿泊拠点地区」を形成する「国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル・旅館」や外国人向けの低廉な宿泊施設である「ウェルカムイン」は少ない状況です。

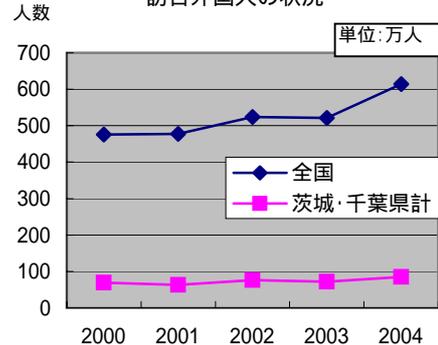
案内標識などの外国語対応の必要性は認識されているものの、多言語化は十分には進んでいない状況です。

外国人のための案内施設は、「i」案内所として10箇所が指定されていますが、成田市、千葉市、つくば市など、地域的に限られた場所に偏在している状況です。

通訳案内士は760人、通訳ボランティアは約3,500人、合わせて4,000人以上いるものの、今後の需要が見込まれる韓国語、中国語については数が少なく、組織化や連携は進んでいません。

外国語による受診が可能な医療機関は、茨城県と千葉県で1,500機関以上あり、県などのホームページで公開されていますが、韓国・中国語で対応可能な施設は限られています。

訪日外国人の状況



用語解説：「i」案内所（「あい」案内所）

訪日外国人旅行者のひとり歩きのため外国語で情報提供を行うことのできる観光案内所のことで、国際観光振興機構が指定する。「i」はInformationの略。地方の観光案内所のうち全国100カ所以上が「i」案内所として指定されている。

今後の方針

ターゲット

韓国・台湾・中国・香港といった「アジア諸国」、
アメリカ、イギリス等の「欧米諸国」

宣伝

ターゲット国の旅行会社、メディア、一般消費者に直接宣伝する。
トランジット客や都内滞在者も視野に入れた宣伝を展開する。
地域が一体となって、茨城県、千葉県の魅力を知ってもらえる宣伝。

基盤の整備

案内標識等の 情報提供

観光情報以外の情報も含めた総合的な案内設備の検討
ピクトグラムを利用した案内標識への誘導
案内説明等の多言語化を進める
「i」案内所、その他、外国語対応が可能な案内施設の拡大
観光資源以外の情報を盛り込んだパンフレット等の作成
インターネット、IT機器等を利用した情報提供の検討

ホスピタリティー の向上

観光従事者を対象に「おもてなし講座」等の実施の検討
通訳サポートネットワークの検討
県民全体の「おもてなし」意識の向上
通訳ボランティアの活用促進、人材の発掘、組織化、相互連携
「地域限定通訳案内士」制度（新制度）の導入を検討する
通訳ボランティア、通訳案内士、地域限定通訳案内士の連携により
ニーズへ対応

交流事業等

外国人観光客が参加可能なイベント等の企画
地域住民との交流の場の拡張を推進

推進体制等

県、市町村、民間等による推進組織を設置
関係する民間との連携を図り、官民一体となった事業実施

医療体制等

医療機関の外国語対応力の向上を検討
通訳ボランティアとの連携を検討
外国語対応が可能な施設の情報を、旅行者や関係機関に周知

旅行費用の 低廉化

ウェルカムカード、共通乗車船券の発行の検討
ウェルカムインの拡大を図る

利便性向上

交通環境の整備
新たな観光商品の開発等の展開、事業者の育成
買い物等に係る利便性の向上方策の検討

目標

国では観光立国の実現のため、2010年までに訪日外国人旅行者を、2002年実績の523万人から倍増の1,000万人にすることを目指しています。
そこで茨城県と千葉県では両県での目標を次のように設定します。

誘客目標

2010年までに150万人とする。
(2002年実績の倍増)

外客来訪促進地域の区域 及び観光経路図

【外客来訪促進地域】

茨城県： 23市10町 3村 36市町村
 千葉県： 22市22町 1村 45市町村

【宿泊拠点地区】

茨城県： 5市 1町 0村 6市町村
 千葉県： 9市 2町 0村 11市町村



< 宿泊拠点地区 >
 「国際観光ホテル整備法」による『登録ホテル・旅館』が3軒以上
 又は計200室以上ある市町村を指定する。



凡例

- 外客来訪促進地域
- 宿泊拠点地区
- メインルート
- オプションルート